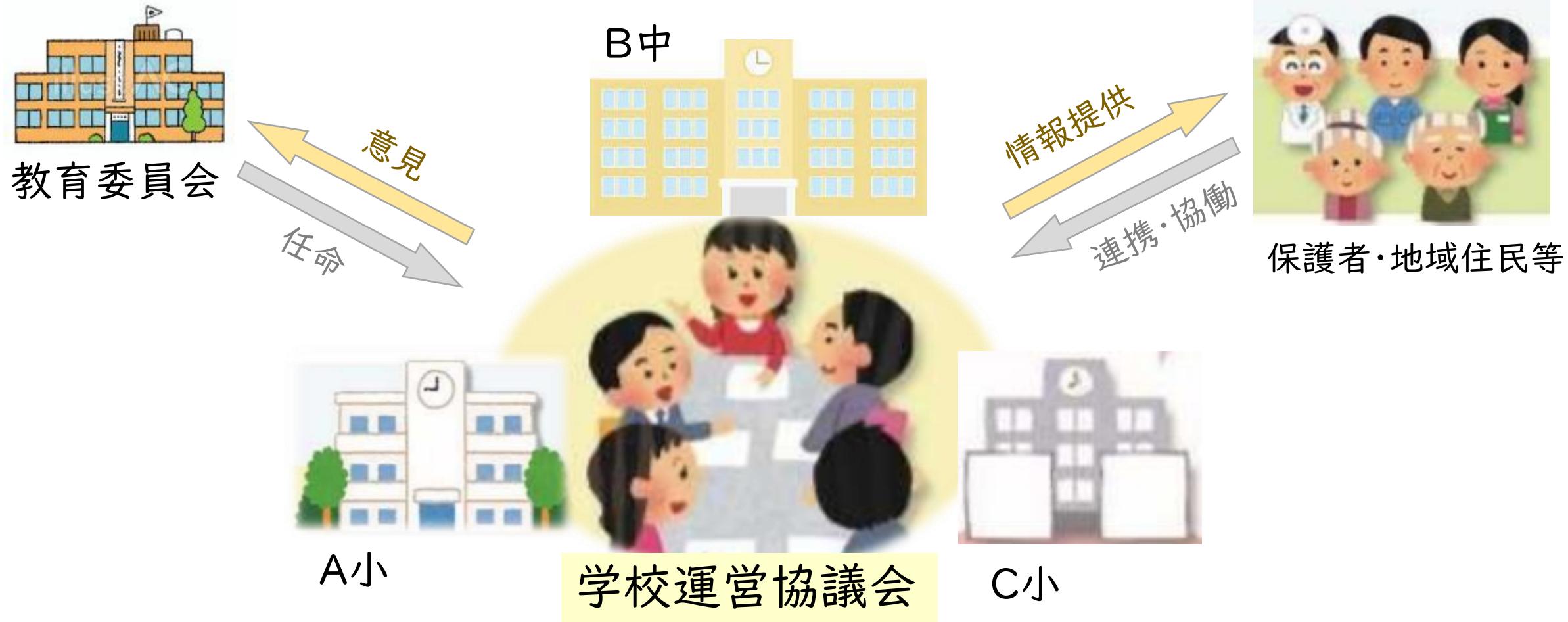


コミュニティ・スクールを 基盤とした教育活動の推進

- コミュニティ・スクール(CS)とは
- CSのしくみを活かした教育活動
- CS導入に向けて

コミュニティ・スクール(CS)とは

→ 学校運営協議会を設置した学校



コミュニティ・スクール(CS)とは

学校運営協議会委員の主な権限

- * 学校運営の基本方針を「承認」する。
→一緒にやっていく責任を伴う
- * 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
- * 教職員の任用に関して、校長を通して教育委員会に意見を述べることができる。

協力から参画へ

コミュニティ・スクール(CS)とは

CS導入の背景

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化



コミュニティ・スクール(CS)とは

学習指導要領 総説 改訂の経緯 平成29年改訂

“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”
という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、
新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む
「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す

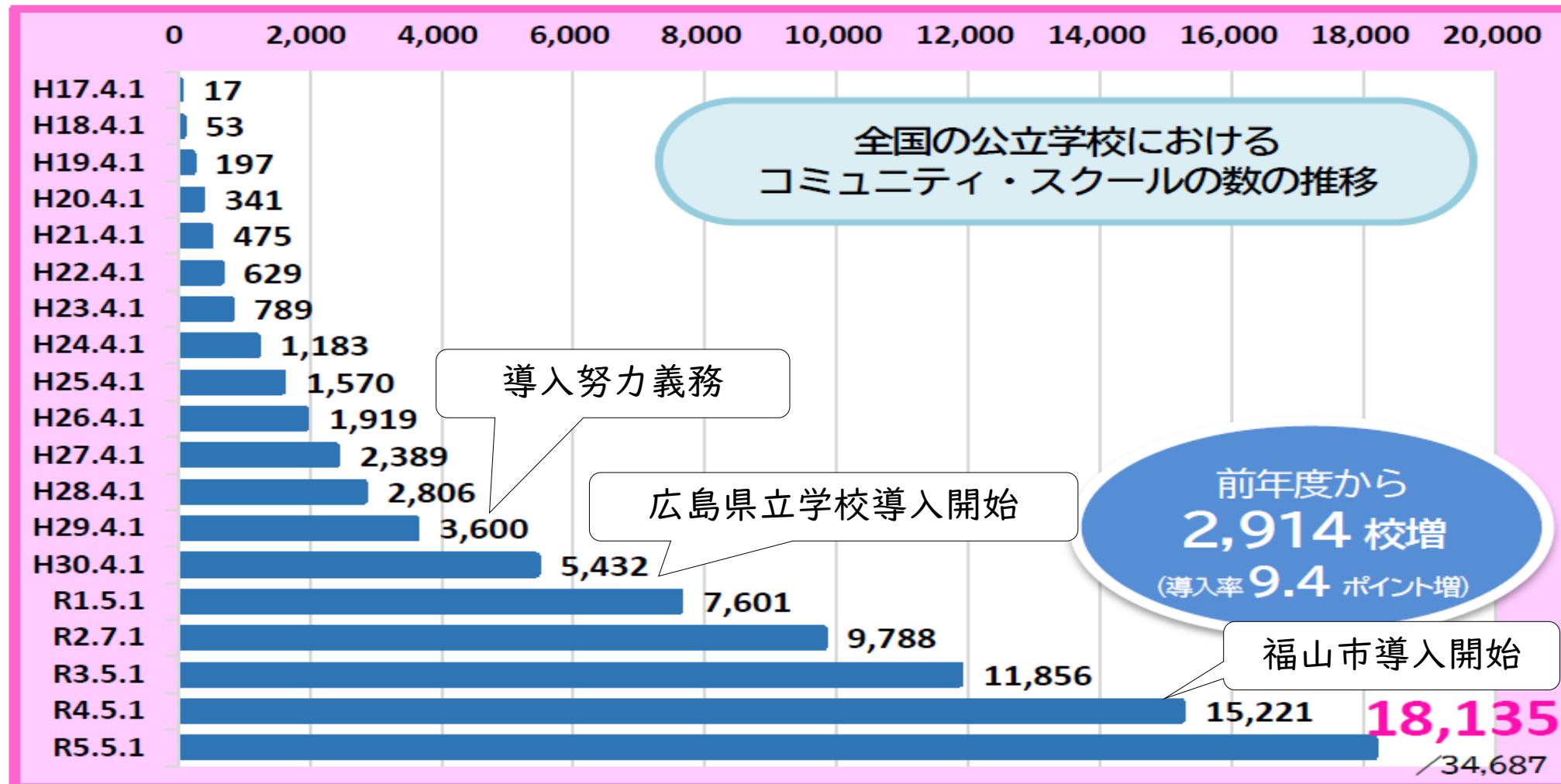


CSは「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた有効なしくみ

コミュニティ・スクール(CS)とは

CS導入状況(全国の公立学校)

18,135 校 (導入率 52.3%) (前年度から 2,914 校増 (導入率 9.4 ポイント増))



コミュニティ・スクール(CS)とは

福山市のCS導入状況

2022(令和4)年度

鞆の浦学園 想青学園



2023(令和5)年度

広瀬学園小・中学校

常石ともに学園

加茂中学校区(加茂中、加茂小)

新市中央中学校区(新市中央中、常金丸小、網引小、新市小、戸手小)



2024(令和6)年度

幸千中学校区(幸千中、千田小、御幸小)

神辺西中学校区(神辺西中、神辺小)

福山中・高等学校

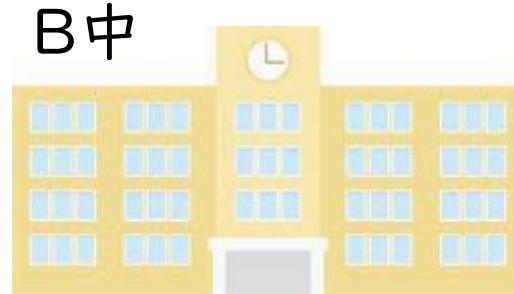
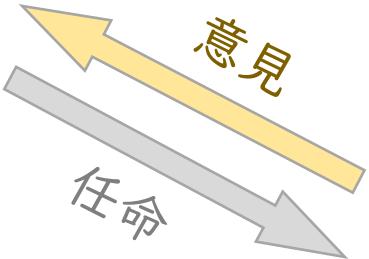
※ 2026年度(令和8年度)までに全中学校区導入予定

コミュニティ・スクール(CS)とは

学校運営協議会委員は？



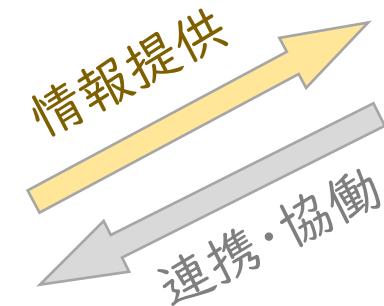
教育委員会



学校運営協議会



A小



C小

コミュニティ・スクール(CS)とは

学校運営協議会委員

校長が教育活動の充実に向けて必要な人を選出
教育委員会が任命

例えば…

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| ・交流館館長 | ・自治会連合会会长 | ・ボランティア委員 |
| ・PTA会長 | ・まちづくり推進委員 | ・民生児童委員 |
| ・大学教授 | ・地元企業の社員 | ・就学前施設長 |
| ・元教諭 | ・ 校長 …等 | |

コミュニティ・スクール(CS)とは

学校運営協議会委員(15人以内)

パイロット校

幸千中学校区(13人)

地域企業代表取締役
ホロコースト記念館館長
千田交流館館長
御幸交流館館長
民生児童委員協議会会长
元校長・元教諭
各小中PTA会長
各小中学校長

鞆の浦学園(7人)

大学教授
学校医
専門学校講師
福祉施設職員
旅行会社職員
PTA会長
校長

コミュニティ・スクール(CS)とは

学校運営協議会委員(15人以内)

パイロット校

想青学園(14人)

地域企業代表取締役
就学前施設長
社会医療法人沼南会理事
常石交流館館長
沼隈内海商工会会長
PTA会長・役員

田島東部まちづくり推進委員会
田島東部自治会連合会会长
田島西部自治会連合会会长
能登原学区自治会連合会会长
横島地区連合自治会副会长
校長

コミュニティ・スクール(CS)とは

学校運営協議会の協議内容

(例) • 学校運営方針

- 教育課程の編成(地域の人的・物的資源)
- 施設・設備等及び管理
- その他校長が必要と認めること

コミュニティ・スクール(CS)とは

学校関係者評価委員会とのちがいは？

学校関係者評価委員

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)			
2024 年度（令和5年度）学校評価自己評価表			
I 福山市		ミッション ビジョン 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。「福山100EN教育」の基本概念のもと、各中学校区・学年が「21世紀型「スキルと倫理観」」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。	
II 中学校区	中央中学校区	校番 1	福山市立 東 小学校
		最終更新日	2024年(令和6年)4月1日
I 福山区	ミッション ビジョン 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。「福山100EN教育」の基本概念のもと、各中学校区・学年が「21世紀型「スキルと倫理観」」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。		
II 中学校区	部年度別校務評価の主な内容 ・中学校で児童生徒の確実な進歩を図っている様子にある。校区としての取組を進めてほしい。 ・児童生徒の個々の学習意欲を高め、児童生徒の主体性を育むため、児童生徒が自らの行動を積極的に行なうことを促す。 ・評議会の目標達成に向けて、十分満足。城ね裏でできることの肯定的評価をいたい ・より、社会貢献活動をしてほしい。	児童生徒の状況 ①学校において、子どもの主体的な学びを重視する。児童生徒が自らの行動を積極的に行なうことを促す。 ②中で児童生徒をすみ、自分自身を引き立てる力も深め、対話を通じて「スキルと倫理観」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。	育成する力 ①「自己肯定感」 心をもつて、地域の中で、伸びやかにたくましく成長している ②「問題発見・解決力」 1 校区内で実施する授業研究 2 中学校区会による「校説紹介」の実施 3 校長会議、校内教頭会、校区各主任会議を通じての連携
III 自校	ミッション 自分達が健やかで未来を自分達で創りあけていく力をもつ子どもの育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを通して～ 学校教育目標 主体的に学び 仲間とともに 未来を創る力を育む	育成する力 ①「自己肯定感」 目標を決め、自ら振り返りながら取り組む ②「問題発見・解決力」 友だちと一緒に取り組む ③「自己肯定感」 目標を決め、自ら振り返り、学び続ける めざす 子ども像 高 学 年 自ら「良い」を見つけ、自分なりの工夫をしながら課題解決をしていく めざす 子ども像 高 学 年 自ら「良い」を見つけ、自分なりの工夫をしながら課題解決をしていくことにはじめ めざす 子ども像 高 学 年 自分たちが想像を動かせ、自己探求的で学習を進め、新たな「良い」や新たな「価値」を創り出す授業 ・知的好奇心や意欲など内発的動機付けによって「学びが面白い」と実感する子どもたちの学びを創り出す授業 ・数寄子どもたちの学びを最大限に引き出し、自ら学べるように環境をつくり、学びを楽しむ授業	現 状 <家庭・地域> ○家庭での教育的時間が多い、家庭での支援・協力が得られる児童の割合が高い。 ●地区主催の運動（ゴルフ・ソフト・サッカー・水泳教育など）に参加している児童は運動に対する関心が高い。一方で、運動に、あまり関わらない家庭は関心があまり高くなく、二極化している。 <児童> ○自分でできることを考え、創造性をもって行動しようとする児童が、少し増えている。 ●友達の気持ちに気をせず、トラブルになる傾向がある。 <授業> ○児童の理解を解決しようとする様々な方法を取り入れようとしている。 ○教科横断的授業は、教材内容を統一して、授業づくりを進めるようとする授業がある。 ●児童が持続的動機付けに基づき学習を進め、「学ぶことが面白い」と実感できる授業づくりが必要である。

学校の自己評価の結果について評価する

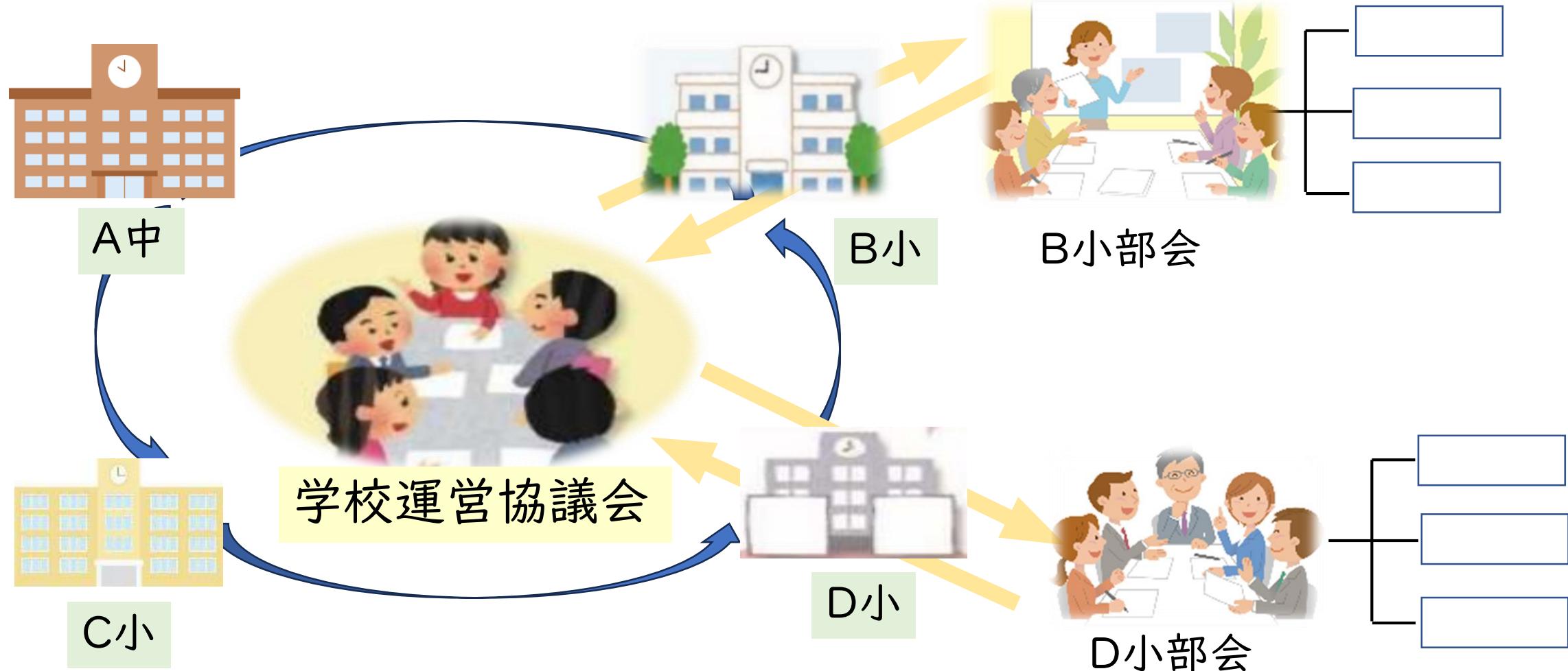
学校運営協議会



目標やビジョンを共有し
学校運営に参画する

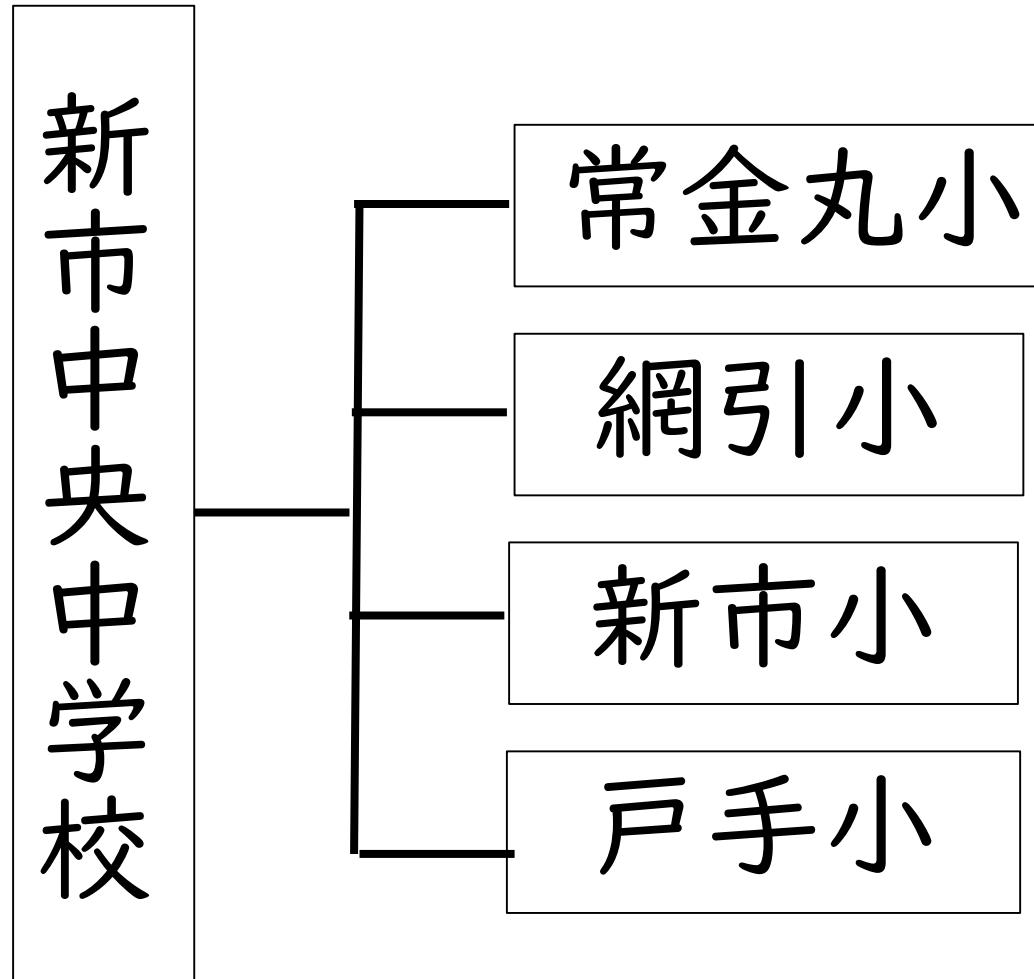
コミュニティ・スクール(CS)とは

中学校区でどのように学校運営協議会を設置しているのか？



コミュニティ・スクール(CS)とは

中学校区でつくる部会



コミュニティ・スクール(CS)とは

各校(部会)でつくる取組体制



新市中央中学校

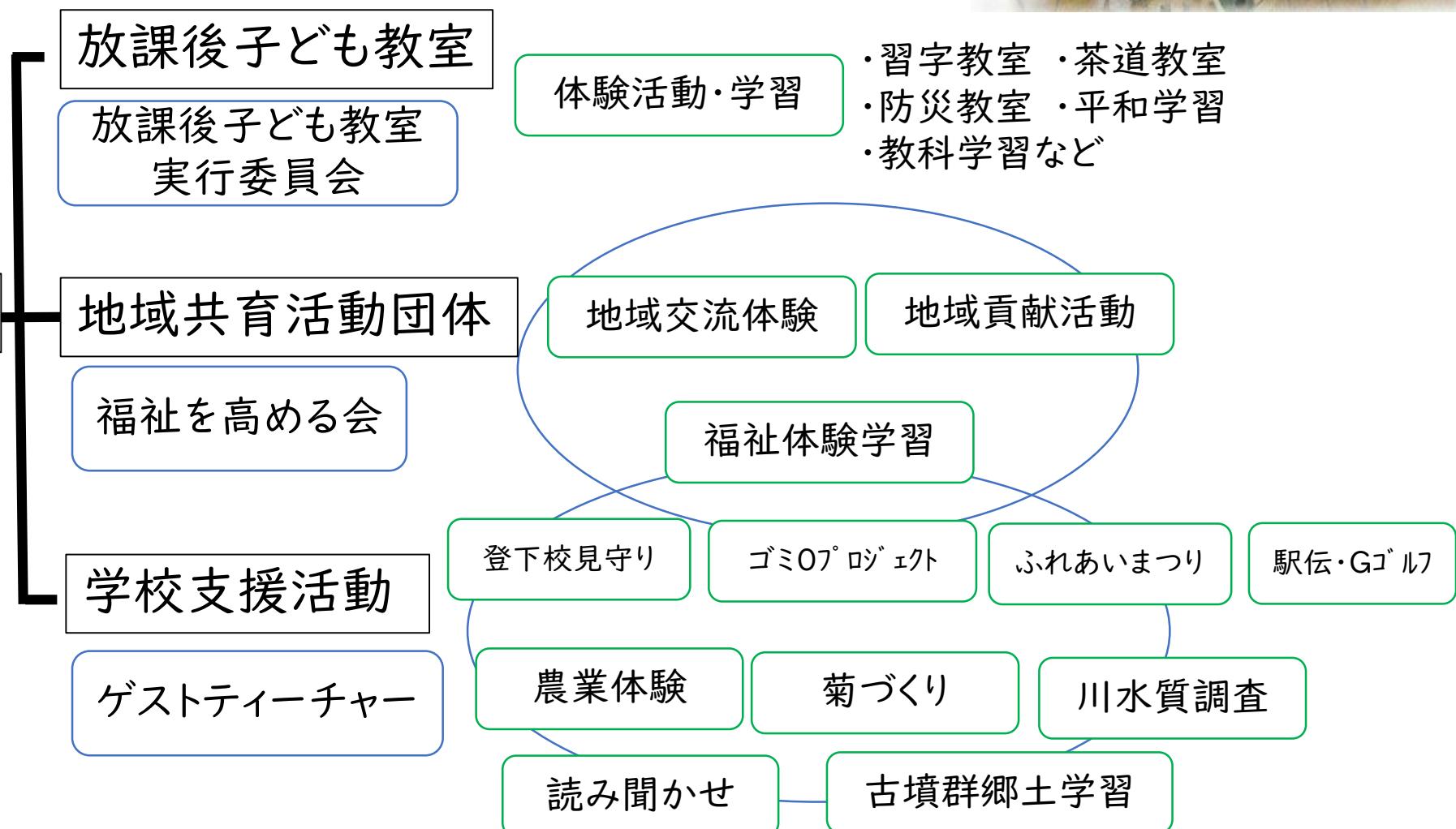
常金丸小

網引小

新市小

戸手小

推進員



- コミュニティ・スクール(CS)とは
- CSのしくみを活かした教育活動
- CS導入に向けて

福山100 NEN 教育 9th year

記号
接地

主体的・対話的で深い学び

- 教材研究を中心に据えた
校内研修体制の構築・再構築
 - ◆ 調査結果に基づく授業改善
- 「学び」の探究パイロット校事業
 - ◆ 幼保小中接続カリキュラムの編成
 - ◆ ICT活用の目的・場面・方法を明確化 等

- 教職員がやりがいを実感する取組
 - ♥ 一斉・指定・任意研修等の継続・充実
- 教職員の負担軽減につながる取組
 - ♥ 統合型校務支援システム導入準備
 - ♥ 補助員等の配置

元気・笑顔で学び続ける教職員

学びをつくる教職員研修

- 学習指導要領に立ち返り
教材研究を中心に据えた研修
 - ◆ 教科の専門性パワーアップ研修
 - ◆ 一人一人の学びを促す授業実践研修
 - ◆ 市内一斉研修
 - ◆ 初任者研修、中堅教諭等資質向上研修
 - ◆ 福山100 NEN教育推進研修 等

- 特別支援教育
 - ♣ アセスメントに基づく指導支援
- 外国人児童生徒等の支援体制の整備
- 不登校児童生徒への支援
 - ♣ 学校内外のどこかに繋がる取組
 - ♣ 校内外フリースクールの充実

多様な学びの場の充実

CSのしくみを活かした教育活動（幸千中学校区）

教育活動の整理・見直し

千田小

ふるさと・防災学習		
学年	内容	時期
5学年	千田小に残せるものを…	2学期
3学年	千田の地図作り（社会）	1学期
2学年	町はっけん	
2・3年	わくわく農園	年間

ふるさと・防災学習		
学年	内容	時期
2年	町探検	5・10月
2年		月
2年		月
3年		月
3年		月
4年		月
5年		月
6年		月
6年	福山探求（福山市の競争について）	1学期

ふるさと・防災学習		
学年	内容	時期
3学年	福山探求（地域の歴史を学ぶ）	4月
3学年	福山探求（福山市のバラづくりの歴史を学ぶ）	4月
1学年	地域防災の取組を学ぶ	
1年生	HUG体験（福山平成大学）	

地域貢献活動		
学年	内容	時期
6学年	福山キッチンとの連携	5月末
6学年	子ども園と連携	2学期
4学年	千葉おどり	5月
3学年	福の山音頭	5月
3学年	地域企業のSDGs	2・3学期
1学年	子ども園と連携	2学期

地域貢献活動		
学年	内容	時期
1年	幼保小連携	年間
1年		
1年		
3年		
5年と有		
5年		

地域貢献活動		
学年	内容	時期
有志	ボランティア・舞祭小学校清掃除	4月
有志	ボランティア・江戸小学校清掃除	4月
有志	ボランティア・江戸コミュニティ広場環境整備	
有志	ボランティア・森駒中公園（ばら公園）環境整備	
有志	ボランティア・千田学区 河川美化・浄化活動	
有志	ボランティア・正戸山公園美化活動	
有志	学区運動会スタッフ参加	
文化部等	学区文化祭への参加	1・1月
美術部	千田学区どんど舞りの制作	1月
ボランティア部	御幸交流館 おはなし会 スタッフ	6月

平和学習		
学年	内容	時期
4学年	バラについて知る	6月
4学年	原爆ドームへ行く 福山空襲	1・2学期

平和学習		
学年	内容	時期
6年	人権平和資料館への見学	6月

平和学習		
学年	内容	時期
1学年	ホロコースト記念雑誌学	5月
生徒会等	バラの植栽	年間
生徒会等	バラの接ぎ木	12月
生徒会等	アンネのバラの配市	5月以前
生徒会等	アンネのバラの取組発表（ばら祭り）	5月
生徒会等	ホロコースト国際デーへの参加	1月
生徒会等	アンネのバラや平和活動の取組発表（文化祭）	
2学年	ヒロシマ・ナガサキ・フクヤマ平和探求	9月
生徒会	アンネのバラ 取組発表 ホロコースト記念館 アメリカ訪問団	4月

御幸小

学校と地域の探究的な協働学習

学びをつ
くる教職
員研修

CSのしくみを活かした教育活動（幸千中）

平和学習



ホロコースト記念館 校外学習

命と平和について
学ぶ



アンネのばらプレート贈呈式



オランダ大使館訪問



美術部デザイン

主体的・
対話的で
深い学び

多様な学
びの場の
充実

CSのしくみを活かした教育活動（幸千中）

地域貢献活動



地域の清掃活動



絵本読み聞かせボランティア（交流館）



生徒が
企画・運営

主体的・
対話的で
深い学び

多様な学
びの場の
充実

CSのしくみを活かした教育活動(千田小)

ふるさと・防災学習



ゲストティーチャー(防災) 5年



排水を行うポンプ場 5年



わくわく農園 2年
じゃがいも栽培

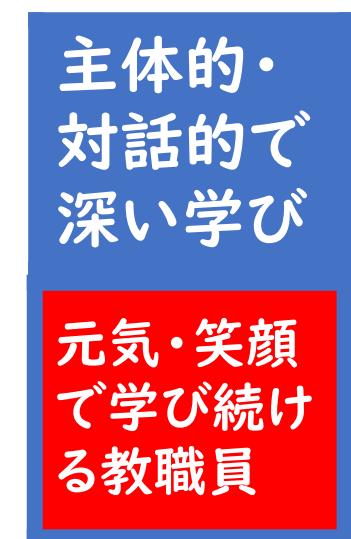


福山キッチン装飾 6年
「SOU 造 プロジェクト」

主体的・
対話的で
深い学び



元気・笑顔
で学び続け
る教職員



CSのしくみを活かした教育活動（御幸小）

平和学習・防災学習など



ホロコースト記念館で平和学習 6年



「水」に関わる学習 4年



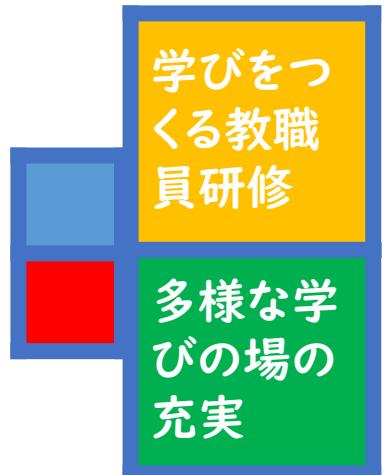
交通安全教室 希望者50名



防災学習 5年



野菜作り 2年



CSのしくみを活かした教育活動（鞆の浦学園）

鞆学（5年生）



健康プロジェクトチーム 発足



地域のお年寄りへインタビュー



「鞆の浦体操」制作開始



理学療法士による体操のアドバイス



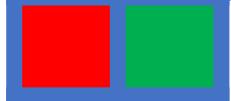
地域に発信



動画配信

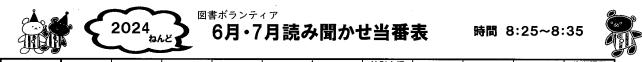
主体的・
対話的で
深い学び

学びをつ
くる教職
員研修



CSのしくみを活かした教育活動(鞆の浦学園)

図書ボランティア委員



図書ボランティア 読み聞かせ当番表											
日程	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援 (前期)	7年/3R	8年	9年	後期課程 (2R/5R)
6月	3日 住吉	保利	江竜	笛岡	堤	三橋	小川				
	10日 根本	沖浦	小林				武田				
	17日 保利	赤松					高階				
	24日 清水	小林					赤松				
7月	1日 江竜	住吉	高階	武田	根本	笛岡	保利				
	8日 小川	三橋	沖浦				小林				
	15日 沖浦	根本					清水				
	22日 赤松	江竜					柏原				

●各人ご確認の上、時間厳守でお願い致します。
読み聞かせの時間は、8:25～8:35です。
●読み聞かせの記録を記入する場所は、南校舎2階 図書室です。
※マスクの着用は自由です。

◎前期特別支援はたんぽぽ学級[北校舎1階]にて読み聞かせを行います。
◎後期2Rは2R[中校舎1階]にて読み聞かせを行います。
◎7年/3Rは7年教室にて読み聞かせを行います。

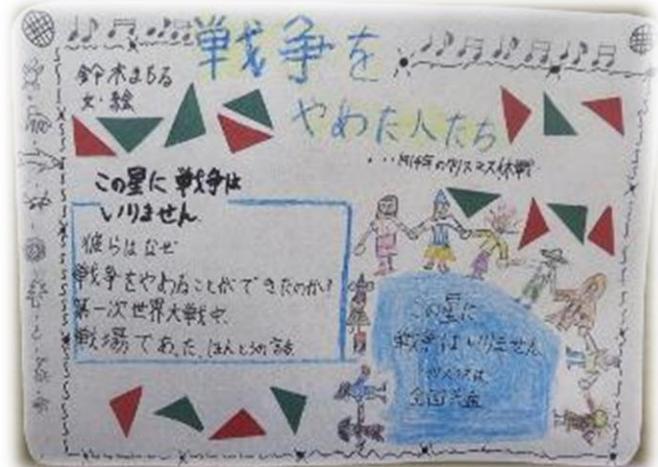


朝の読み聞かせ



朝の職員会議

広島県教育長賞



読んでもらった本で
子どもがポップを作成

主体的・
対話的で
深い学び

元気・笑顔
で学び続
ける教職員

CSのしくみを活かした教育活動（鞆の浦学園）

地域の方が講師として参画



大漁節



探究について考える授業



地域の方による教職員研修会



アイヤ節



鞆学の探究課題を考える授業

学びをつ
くる教職
員研修



CSのしくみを活かした教育活動（鞆の浦学園）

地域の方と触れ合う場



わかめの植えつけ体験



クラブ活動(将棋)



子どもからの質問に答える委員



お店探検



クラブ活動(茶道)



多様な学
びの場の
充実

CSのしくみを活かした教育活動（想青学園）

SOSEI学

歴史・文化、産業、自然等を素材に児童生徒の発見や疑問に応じ、展開する探究学習



地域の食材がつまつた
お弁当の考案・制作



地域の伝統文化をインター
ビュー



岩永書店にインター
ビュー



地域のイベントで販売



能登原とんど制作



本の魅力を伝える

育成する
21世紀型“スキル&倫理観”

表現力 共感力
チャレンジ精神

主体的・
対話的で
深い学び

CSのしくみを活かした教育活動（想青学園）

SOSEI学

歴史・文化、産業、自然等を素材に児童生徒の発見や疑問に応じ、展開する探究学習



中学生による就学前施設訪問



消防団による防災



交流館館長へインタビュー



地域の方からのアドバイス

育成する
21世紀型“スキル&倫理観”

表現力 共感力
チャレンジ精神



多様な学
びの場の
充実

CSのしくみを活かした教育活動（想青学園）

カリキュラム編成の検討

地域の専門家による機器操作の指導



教職員フィールドワーク



This is a detailed curriculum document for the 'SOSEI祭' (SOSEI Festival). It includes various sections such as 'カリキュラム', '授業', '評議会', '実習', and '展示会'. The document is filled with text, tables, and diagrams, indicating a comprehensive educational program.

地域の人的・物的資源が入ったカリキュラム

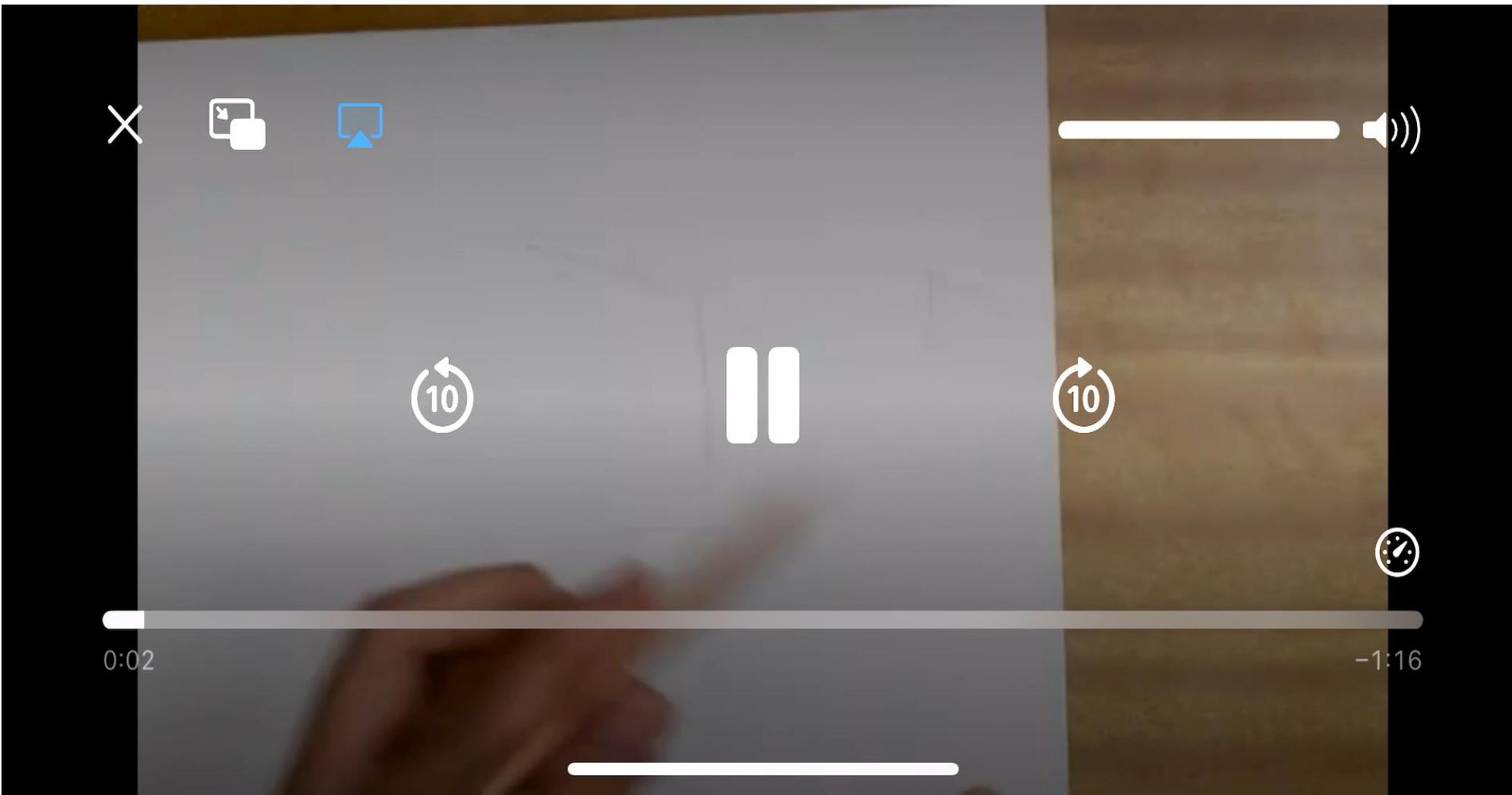


SOSEI祭に向けて動画作成・編集

学びをつ
くる教職
員研修

CSのしくみを活かした教育活動（想青学園）

完成したPR動画



学びをつ
くる教職
員研修



CSのしくみを活かした教育活動（想青学園）

地域の人的・物的資源を整理・活用



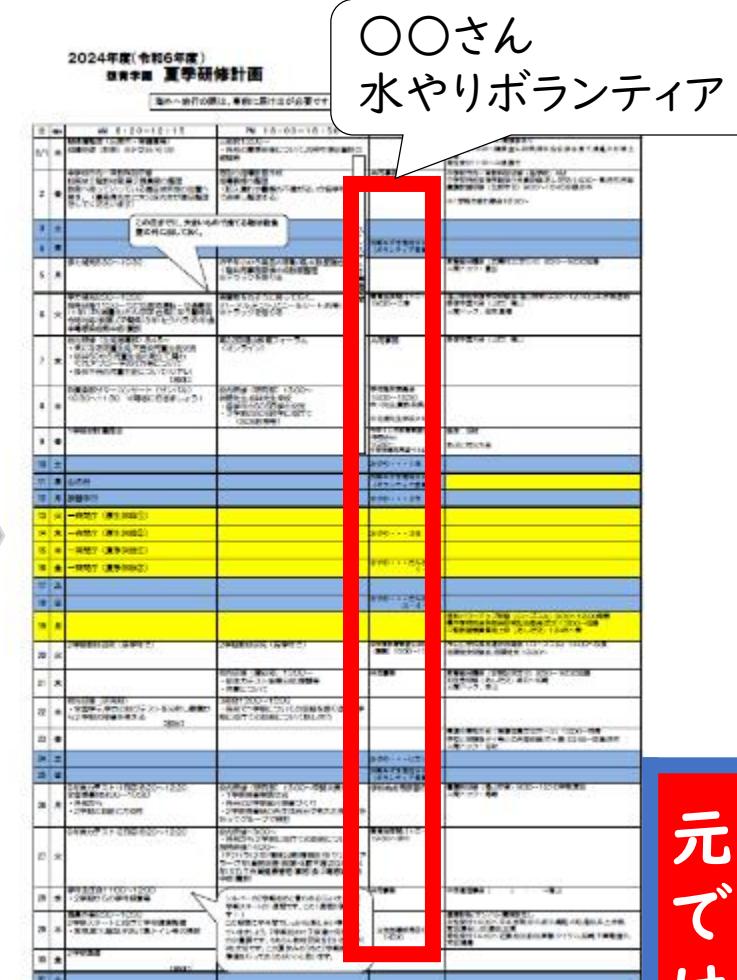
プログラミング ミシン・裁縫 畑・樹木の水やり草抜き・



集約した声の集約



学校運営協議会で検討



学校のスケジュールに反映

元気・笑顔
で学び続
ける教職員

- コミュニティ・スクール(CS)とは
- CSのしくみを活かした教育活動
- CS導入に向けて

CS導入に向けて

○ 周知

- ・ 校内研修等で自校や校区の教職員とCSについて考える。
- ・ 地域、家庭へCSの情報を発信する。
※ 毎月、各学校配付の「こども新聞」へ掲載予定(9月号から)

○ 学校運営協議会委員の人選

- ・ 学校状況に応じて校長が委員を選出する。

CS導入に向けて

スケジュール (来年度導入の場合)

8月	周知と人選
3月	<ul style="list-style-type: none">・学校運営協議会委員を人選し、市教委へ報告
4月	<ul style="list-style-type: none">・第1回学校運営協議会に向けた事前会議 (小中校長、会長・副会長候補者、CS担当教員など)
5月	<ul style="list-style-type: none">・第1回学校運営協議会

CS導入に向けて

事務手続

- 学校運営協議会委員名簿作成 → 市教委へ送付(3月末)
- 第1回学校運営協議会の案内作成
→ 委員・市教委へ送付(4月中)
- 支払相手方登録・個人番号届出書を委員へ依頼
→ 市教委へ送付(5月末)

[委員名簿]

[案内]

[支払相手方登録] [個人番号届出書]

協議の進め方

- ・ 協議しやすい人数にグループを分ける。
- ・ 各グループで記録者、司会者を決める。
- ・ 記録者は、自身の学習端末を準備する。
- ・ グループで協議テーマを選択する。(複数選択可)

協議のテーマ

- ① 地域・学校の強み
- ② 地域・学校の課題
- ③ 地域にある人的・物的資源
- ④ 地域にある人的・物的資源を活用した教育活動
- ⑤ 導入に向けた計画・準備

※ CS導入校は、各学校の状況に応じて、上記以外の協議テーマを設定しても構いません。

※ ①～⑤の記録シートはこちら（本スライドも同じ場所に掲載）

共有ドライブ → 02教育委員会使用（教職員向け）→ 2024福山教育フォーラム

中学校区における協議（夏季休業中に実施）

- ① 中学校区で導入する年度を決定する。
- ② 中学校区にある地域の人的・物的資源を出し合う。
- ③ ②について、中学校区で分類・整理する。
- ④ 学校運営協議会委員（候補者）について話し合う。

〈内容〉 各校の校長、小中一貫教育推進担当教員が集まる場を
中学校区で設定し、【中学校区協議シート】を作成・提出

〈期限〉 8月30日（金）

〈提出方法〉 校長メール（校区の代表校） ※ 別途通知